

川越高校図書館だより 2020年8月号



いよいよ学校生活の後半が始まりますね。
今年は夏休みが短かったですが、有効な時間になったでしょうか？
図書館も暑さに負けず、再開します。

図書館のお仕事 ～蔵書点検 編～

夏休みの期間を利用して、8月5日～8月7日を閉館にし、蔵書点検を行いました。
蔵書点検とは、図書館にある本のバーコードを全部読み込んで、紛失本がないかどうかチェックする作業のことです。
日頃から、きちんと利用してくれている人が多く、紛失本は少なかったです。
図書館内と廊下の掲示板上に、紛失本一覧を掲示しますので、本を見つけたら司書まで教えてください。
紛失の原因は、貸出手続きミス・間違った本棚に置かれている・無断持ち出しなどが考えられます。いつでもすぐ利用できるよう、正しい場所への返却をお願いします。

※ 8月20日は担当者不在となるため、午後から閉館します。

図書館前（図書委員セレクト）特集
テーマ 旅に出た気分になれる本



図書委員のオススメ本

【担当 2-4、3-7】



『百貨の魔法』

村山早紀/著 ポプラ社

閉店すると噂の百貨店を愛する人々と、夢を叶える魔法の白猫が織り成す優しい物語。百貨店のレトロな建物や豪華な内装を想像すると心がワクワクしてくるような気がします。様々な奇跡のような魔法のような物語は、きっと心が癒され、優しい気持ちになれること間違いなし！

『死亡フラグが立ちました！ 凶器は…バナナの皮!?殺人事件』

七尾与史/著 宝島社文庫

第8回「このミステリーがすごい！」大賞隠し玉受賞作。死神と呼ばれる殺し屋に狙われたターゲットはなぜか必ず不運な事故に遭い命を落としてしまう…。殺人ミステリーでありながらもコミカルな文調で書かれており、活字が苦手な方でも親しみやすい作品です。

文化祭に向けて ～企画のお知らせ～

来たる9月3日と4日には文化祭があります。今年度も図書館では企画を準備しています。その名も「図書委員が選ぶ、皆に読んでほしい本」です！
図書委員1人1人が図書館にある本の中から、ぜひ読んで欲しいと思った本を図書館内で紹介しています。
ぜひ、この機会を本に親しむチャンスにしてください！
今年は、例年と異なった企画となりますが、図書館に足を運んでくれればと思います。